

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver

サントリーワールドリサーチセンター(SWR)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補

■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>				0.33				<b>3.9</b>
<b>1 音環境</b>				3.4		-		3.4
1.1 騒音		ラボ執務エリアNC40~45		4.0		-		-
1 室内騒音レベル				4.0		1.00		-
2 遮音				3.0		0.40		-
1 開口部遮音性能				3.0		0.60		-
2 界壁遮音性能				3.0		0.40		-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-		-		-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-		-		-
1.3 吸音				3.0		0.20		-
<b>2 温熱環境</b>				4.0		0.35		4.0
2.1 室温制御		Pca外壁		4.2		0.50		-
1 室温				3.0		0.38		-
3 外皮性能		ラボエリア冷暖フリー空調		5.0		0.25		-
4 ソーン別制御性				5.0		0.38		-
2.2 湿度制御		ラボエリア夏26°C55%/冬22°C45%		5.0		0.20		-
2.3 空調方式				3.0		0.30		-
<b>3 光・視環境</b>				3.4		0.25		3.4
3.1 昼光利用		トップライト+吹抜け		3.4		0.30		-
1 昼光率				3.0		0.60		-
2 方位別開口				-		-		-
3 昼光利用設備				4.0		0.40		-
3.2 グレア対策				3.0		0.30		-
2 昼光制御				3.0		1.00		-
3.3 照度		ラボ執務エリアタスクアンビエント照明		5.0		0.15		-
3.4 照明制御				3.0		0.25		-
<b>4 空気環境</b>				4.9		0.25		4.9
4.1 発生源対策		内装材☆☆☆☆の採用		5.0		0.50		-
1 化学汚染物質				5.0		1.00		-
4.2 換気		ラボエリア3~5回/h、建築物衛生法1.4倍以上		4.6		0.30		-
1 換気量		中間期の外気冷房		5.0		0.33		-
2 自然換気性能		ラボエリア外気各階取入れ、屋上排気		4.0		0.33		-
3 取り入れ外気への配慮				5.0		0.33		-
4.3 運用管理		CO2計測、管理マニュアル整備		5.0		0.20		-
1 CO2の監視		常時負圧の喫煙室の設置		5.0		0.50		-
2 喫煙の制御				5.0		0.50		-
<b>Q2 サービス性能</b>				0.30				<b>3.9</b>
<b>1 機能性</b>				4.1		0.40		4.1
1.1 機能性・使いやすさ		1人当たり執務スペース10m2		3.6		0.40		-
1 広さ・収納性		OA電源40VA/m2		4.0		0.33		-
2 高度情報通信設備対応				4.0		0.33		-
3 バリアフリー計画				3.0		0.33		-
1.2 心理性・快適性		ラボ執務エリア天井高3.55m、バルコニーの緑化		5.0		0.30		-
1 広さ感・景観		リフレッシュスペース+自販機の設置		5.0		0.33		-
2 リフレッシュスペース		内装パース、コンセプトの設定		5.0		0.33		-
3 内装計画				4.0		0.30		-
1.3 維持管理		防汚性の高い外壁、外部金属の防錆処理		4.0		0.50		-
1 維持管理に配慮した設計		SKの適正配置、廃棄物置場確保、室バルブ設置		4.0		0.50		-
2 維持管理用機能の確保				4.0		0.50		-
2 耐用性・信頼性				3.8		0.31		3.8
2.1 耐震・免震		建築基準法の1.25倍の耐震性能		3.8		0.48		-
1 耐震性				4.0		0.80		-
2 免震・制振性能				3.0		0.20		-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3		0.33		-
1 躯体材料の耐用年数				3.0		0.23		-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		厨房排気ダクトはガルバニウム鋼板		3.0		0.23		-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		給水配管VLP、排水配管VP		3.0		0.09		-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				4.0		0.08		-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0		0.15		-
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0		0.23		-

2.4 信頼性			4.6	0.19			
1	空調・換気設備	換気系統の分割、熱源機モジュール構成	5.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	節水型器具	5.0	0.20			
3	電気設備	非常用発電機、本線予備線2回線受電	5.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	重要基幹設備耐震クラスS	4.0	0.20			
5	通信・情報設備	サーバー室2階に設置	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.6	0.29			3.6
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31			
1	階高のゆとり	階高5m確保	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.7	0.38			
1	空調配管の更新性	天井裏の十分なスペース確保	4.0	0.17			
2	給排水管の更新性	天井裏の十分なスペース確保	4.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性	天井裏の十分なスペース確保	5.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				0.37			4.0
1 生物環境の保全と創出		建物緑化、敷地条件に配慮した緑地計画	4.0	0.30			4.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑地計画、周辺環境との調和	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30			4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	バルコニー配置	4.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	排熱機器の屋上設置、空地確保、緑化	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							4.1
LR1 エネルギー				0.40			4.7
1 建物の熱負荷抑制		改正省エネ法計算、JBPAL低減率51%	5.0	0.10			5.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.26			4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライト	4.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電4kwの設置	4.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		ERR=3.3%	4.9	0.39			4.9
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=3.3%	4.9				
集合住宅の評価							
4 効率的運用			5.0	0.26			5.0
4.1	モニタリング	熱源機、熱源システム製造熱量、搬送熱量等計測実施	5.0	0.50			
4.2	運用管理体制	年間エネルギー消費量目標値の設定	5.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				0.30			4.1
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水型器具	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			4.5	0.63			4.5
2.1	材料使用量の削減	プレキャストコンクリートの使用	4.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	-			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	基礎・基礎梁には高炉セメント使用	5.0	0.28			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート、タイルカーペット、再生木デッキ	5.0	0.28			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げの分別可能、再利用可能なユニット部材の採用	4.0	0.34			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22			3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	含有しない建材種別4つ以上採用	4.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.6
1 地球温暖化への配慮		省CO2技術(省エネ機器、高炉セメント、再生可能エネルギー等)	3.6	0.33			3.6
2 地域環境への配慮			3.6	0.33			3.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		排熱機器の屋上設置	4.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	駐車場の適正台数確保	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制	廃棄物置場の確保、分別収集の徹底	4.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.5	0.33			3.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.6	0.40			
1	騒音	機器側防振対策実施	3.0	0.33			
2	振動		5.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外サインの光害対策への配慮	5.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			